

2020年6月17日

各 位

会 社 名 株式会社セゾン情報システムズ
代表者名 代表取締役社長 内 田 和 弘
(J A S D A Q ・ コード : 9640)
問合せ先 経営推進部長 武 永 将 一
電話番号 03-6370-2930

**(訂正・数値データ訂正)「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について**

当社が2020年5月13日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。また、XBRLにも訂正がありましたので訂正後のXBRLデータも送信します。

記

1. 訂正理由

「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後の有価証券報告書の作成過程において、連結キャッシュ・フロー計算書と当社グループにおける会計処理の方針との整合性等を勘案した結果、記載内容の一部に訂正すべき事項があることが判明しました。また、セグメント情報では誤りが判明いたしましたので、当該事項を訂正するものであります。

2. 訂正内容

【サマリー情報】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【添付資料4ページ及び5ページ】

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【添付資料15ページ及び16ページ】

4. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【添付資料29ページ】

4. 連結財務諸表及び主な注記

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(セグメント情報等)

【サマリー情報】

(訂正前)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	<u>2,244</u>	<u>△248</u>	△1,260	9,560
2019年3月期	2,692	△365	△773	8,867

(後略)

(訂正後)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	<u>3,423</u>	<u>△1,428</u>	△1,260	9,560
2019年3月期	2,692	△365	△773	8,867

(後略)

【添付資料4 ページ及び5 ページ】

(訂正前)

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より693百万円増加し、9,560百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は**2,244百万円**（前連結会計年度は2,692百万円の獲得）となりました。

主な増加要因は、税金等調整前当期純利益が1,432百万円となったことに加えて、非資金項目である減損損失1,631百万円を計上したこと等によるものであります。また、**主な減少要因は、事業整理損1,454百万円を支払ったこと等によるものであります。**

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は**248百万円**（前連結会計年度は365百万円の使用）となりました。

主な増加要因は、有価証券の償還による収入439百万円があったこと、投資有価証券の売却による収入136百万円があったこと等によるものであります。また、主な減少要因は、ソフトウェア開発やハードウェア購入等に**562百万円**を支出したこと、有価証券の取得による支出が212百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,260百万円（前連結会計年度は773百万円の使用）となりました。

主な減少要因は、配当金の支払1,214百万円があったこと等によるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第49期 2018年3月期	第50期 2019年3月期	第51期 2020年3月期
自己資本比率 (%)	55.0	63.4	65.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	139.1	114.0	136.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	3.1	5.3	4.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	126.6	286.3	1,716.9

※自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

- 1 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- 2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
- 3 キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しています。
- 4 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象にしています。

(訂正後)

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より693百万円増加し、9,560百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は**3,423百万円**（前連結会計年度は2,692百万円の獲得）となりました。

主な増加要因は、税金等調整前当期純利益が1,432百万円となったことに加えて、非資金項目である減損損失1,631百万円を計上したこと、事業整理損失引当金438百万円を計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は**1,428百万円**（前連結会計年度は365百万円の使用）となりました。

主な増加要因は、有価証券の償還による収入439百万円があったこと、投資有価証券の売却による収入136百万円があったこと等によるものであります。また、主な減少要因は、ソフトウェア開発やハードウェア購入等に**1,741百万円**を支出したこと、有価証券の取得による支出が212百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,260百万円（前連結会計年度は773百万円の使用）となりました。

主な減少要因は、配当金の支払1,214百万円があったこと等によるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第49期 2018年3月期	第50期 2019年3月期	第51期 2020年3月期
自己資本比率 (%)	55.0	63.4	65.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	139.1	114.0	136.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	3.1	5.3	<u>2.8</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	126.6	286.3	<u>2,618.8</u>

※自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

- 1 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- 2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
- 3 キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しています。
- 4 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象にしています。

【添付資料 15 ページ及び 16 ページ】

(訂正前)

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,331,905	1,432,259
減価償却費	1,888,775	1,757,616
のれん償却額	87,076	87,076
減損損失	—	1,631,599
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	63,601	△120,783
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,454	△360,861
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△35,267	—
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	438,926
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△128,280	△168,026
受取利息及び受取配当金	△6,158	△15,208
支払利息	7,780	1,307
為替差損益 (△は益)	153	14,364
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,950	△24,013
固定資産処分損益 (△は益)	23,968	9,611
投資事業組合運用損益 (△は益)	△10,697	△32,181
持分法による投資損益 (△は益)	△2,724	△1,797
売上債権の増減額 (△は増加)	649,613	237,465
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,155	34,005
仕入債務の増減額 (△は減少)	△781,531	△784,284
前受金の増減額 (△は減少)	△26,967	182,169
その他の資産の増減額 (△は増加)	△355,372	<u>△39,267</u>
その他の負債の増減額 (△は減少)	△191,936	△339,737
小計	3,487,378	<u>3,940,241</u>
利息及び配当金の受取額	5,695	15,654
利息の支払額	△9,404	△1,307
事業整理損の支払額	—	<u>△1,454,679</u>
法人税等の支払額	△792,060	△255,198
法人税等の還付額	804	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,692,413	<u>2,244,716</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△220,897	△212,801
有価証券の償還による収入	100,000	439,253
投資有価証券の売却による収入	23,252	136,220
貸付けによる支出	△1,500	—
貸付金の回収による収入	850	900
投資事業組合からの分配による収入	23,400	44,500
有形及び無形固定資産の取得による支出	△449,781	△562,108
有形及び無形固定資産の売却による収入	283	58
敷金及び保証金の差入による支出	△2,380	△3,263
敷金及び保証金の回収による収入	186,802	2,855
資産除去債務の履行による支出	△25,300	△94,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△365,271	△248,885
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△45,283	△46,586
自己株式の取得による支出	—	△126
配当金の支払額	△728,385	△1,214,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	△773,668	△1,260,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,478	△41,755
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,563,952	693,319
現金及び現金同等物の期首残高	7,303,680	8,867,632
現金及び現金同等物の期末残高	※ 8,867,632	※ 9,560,951

(訂正後)

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,331,905	1,432,259
減価償却費	1,888,775	1,757,616
のれん償却額	87,076	87,076
減損損失	—	1,631,599
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	63,601	△120,783
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,454	△360,861
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△35,267	—
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	438,926
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△128,280	△168,026
受取利息及び受取配当金	△6,158	△15,208
支払利息	7,780	1,307
為替差損益 (△は益)	153	14,364
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,950	△24,013
固定資産処分損益 (△は益)	23,968	9,611
投資事業組合運用損益 (△は益)	△10,697	△32,181
持分法による投資損益 (△は益)	△2,724	△1,797
売上債権の増減額 (△は増加)	649,613	237,465
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,155	34,005
仕入債務の増減額 (△は減少)	△781,531	△784,284
前受金の増減額 (△は減少)	△26,967	182,169
その他の資産の増減額 (△は増加)	△355,372	△314,692
その他の負債の増減額 (△は減少)	△191,936	△339,737
小計	3,487,378	3,664,816
利息及び配当金の受取額	5,695	15,654
利息の支払額	△9,404	△1,307
法人税等の支払額	△792,060	△255,198
法人税等の還付額	804	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,692,413	3,423,970

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△220,897	△212,801
有価証券の償還による収入	100,000	439,253
投資有価証券の売却による収入	23,252	136,220
貸付けによる支出	△1,500	—
貸付金の回収による収入	850	900
投資事業組合からの分配による収入	23,400	44,500
有形及び無形固定資産の取得による支出	△449,781	△1,741,362
有形及び無形固定資産の売却による収入	283	58
敷金及び保証金の差入による支出	△2,380	△3,263
敷金及び保証金の回収による収入	186,802	2,855
資産除去債務の履行による支出	△25,300	△94,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△365,271	△1,428,140
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△45,283	△46,586
自己株式の取得による支出	—	△126
配当金の支払額	△728,385	△1,214,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	△773,668	△1,260,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,478	△41,755
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,563,952	693,319
現金及び現金同等物の期首残高	7,303,680	8,867,632
現金及び現金同等物の期末残高	※ 8,867,632	※ 9,560,951

【添付資料 29 ページ】

(訂正前)

3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			
	Fintech プラットフォーム 事業	流通ITサービス 事業	HULFT事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	10,034,577	5,000,454	8,525,940	23,560,971
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	53,761	53,761
計	10,034,577	5,000,454	8,579,701	23,614,733
セグメント利益	1,291,161	371,303	2,344,078	4,006,543
セグメント資産	<u>3,629,224</u>	<u>1,276,435</u>	<u>4,612,401</u>	<u>9,518,060</u>
その他の項目				
減価償却費	762,173	15,073	744,955	1,522,202
のれん償却額	—	—	87,076	87,076
減損損失	—	1,631,599	—	1,631,599
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	48,354	1,191,332	421,108	1,660,794

	調整額 (注) 1	連結財務諸表計上額 (注) 2
売上高		
外部顧客への売上高	—	23,560,971
セグメント間の内部売 上高又は振替高	△53,761	—
計	△53,761	23,560,971
セグメント利益	△557,119	3,449,424
セグメント資産	<u>10,059,547</u>	19,577,608
その他の項目		
減価償却費	235,414	1,757,616
のれん償却額	—	87,076
減損損失	—	1,631,599
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	172,756	1,833,551

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△557,119千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△557,119千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額**10,059,547千円**には、債権の相殺消去等**△502,265千円**、各報告セグメントに配分していない全社資産**10,561,812千円**が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金やデータセンターのサーバー機器等の固定資産等でありませす。
 - (3) 減価償却費の調整額235,414千円には、共用資産及び各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費235,445千円等が含まれております。なお、セグメント利益の算定上は、固定資産に係る減価償却費235,445千円のうち共用資産に係る減価償却費につきましては、合理的な基準で各報告セグメントに配賦しております。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額172,756千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産172,756千円が含まれております。
- 2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(後略)

(訂正後)

3 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報
当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			
	Fintech プラットフォーム 事業	流通ITサービス 事業	HULFT事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	10,034,577	5,000,454	8,525,940	23,560,971
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	53,761	53,761
計	10,034,577	5,000,454	8,579,701	23,614,733
セグメント利益	1,291,161	371,303	2,344,078	4,006,543
セグメント資産	3,442,792	1,106,847	5,313,160	9,862,800
その他の項目				
減価償却費	762,173	15,073	744,955	1,522,202
のれん償却額	—	—	87,076	87,076
減損損失	—	1,631,599	—	1,631,599
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	48,354	1,191,332	421,108	1,660,794

	調整額 (注) 1	連結財務諸表計上額 (注) 2
売上高		
外部顧客への売上高	—	23,560,971
セグメント間の内部売 上高又は振替高	△53,761	—
計	△53,761	23,560,971
セグメント利益	△557,119	3,449,424
セグメント資産	9,714,807	19,577,608
その他の項目		
減価償却費	235,414	1,757,616
のれん償却額	—	87,076
減損損失	—	1,631,599
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	172,756	1,833,551

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△557,119千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△557,119千円が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額9,714,807千円には、債権の相殺消去等△31,694千円、各報告セグメントに配分していない全社資産9,746,502千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金やデータセンターのサーバー機器等の固定資産等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額235,414千円には、共用資産及び各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費235,445千円等が含まれております。なお、セグメント利益の算定上は、固定資産に係る減価償却費235,445千円のうち共用資産に係る減価償却費につきましては、合理的な基準で各報告セグメントに配賦しております。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額172,756千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産172,756千円が含まれております。
- 2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(後略)

以 上